

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。

(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホーム四葉のクローバー

(ユニット名)

1階

記入者(管理者)

氏名

上西 光宜

評価完了日

平成 19 年 7 月 10 日

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年8月31日

【評価実施概要】

事業所番号	3870103946		
法人名	(有)ベターライフ・U		
事業所名	グループホーム四葉のクローバー		
所在地	愛媛県松山市石風呂町甲1014番1 (電話) 089-952-4165		
管理者	岡本 小春		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市三番町六丁目5-19 扶桑ビル2階		
訪問調査日	平成19年7月25日	評価確定日	平成19年8月31日

【情報提供票より】 (平成19年7月4日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成16年4月23日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤	16人, 非常勤 0人, 常勤換算 16.0人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	41,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 400 円
	夕食	400 円	おやつ 100 円
	または1日当たり 1,200 円		
(3)利用者の概要 (平成19年7月4日現在)			
利用者人数	18 名	男性 9 名	女性 9 名
要介護1	3 名	要介護2	2 名
要介護3	5 名	要介護4	6 名
要介護5	2 名	要支援2	0 名
年齢	平均 79 歳	最低 61 歳	最高 99 歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり・(なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり・(なし)	短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

利用者の中には、入居前からされていたランドゴルフを入居後も続けておられる方がいる。共用空間の大型テレビで時代劇を観ることを楽しみにされている方もおられる。車椅子の方が使用しやすいように洗面所の改装を計画されていた。又、利用者の状態に応じて、浴室等の手すりも増設されていた。入居時に看取りや重度化のことでお話をされている。又、医療が必要になった時等にもご家族と話し合われている。看取りの経験をされている事業所の代表者を研修の講師に招き、職員は、ケアについて勉強をされている。

【質向上への取組状況】

前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
・ 接遇面についての研修について特に力を入れて取り組まれている。事業所内での勉強会や外部から講師を招き職員の言葉使いや対応について学ばれた。
今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
・ 職員個々で自己評価に取り組むユニット長がまとめられた。
運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
・ 5月に1回目の会議を開催された。事業所の行事報告やご家族、民生委員の方からもケア等についての質問があり、法人代表者が答えられた。
家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
・ 現在、ご家族の来訪時等に直接ご家族から意見をいただけており、改善に努めておられる。運営推進会議時、言いにくいようだったら、目安箱の利用や外部に報告していただけるよう話しておられる。
日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
・ 近くの溝掃除を自主的にされている。高校生や大学生のボランティアの受け入れをされている。地域行事には積極的に参加をされている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.理念に基づく運営					
1.理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<p>(自己評価)</p> 健康・愛情・幸福・希望の理念をスタッフ一同共有できるように月次ミーティング等で理解を深めている。また、理念が掲載されたカードを携帯し、折に触れ確認・理解できるよう努力している。		地域密着型サービスの意義をスタッフ一同が理解できるよう、理念を再確認する必要がある。「その人らしく」とは何かを具体的に出すことが大切である。
			(外部評価)		
			現在、利用者、ご家族、職員の健康・愛情・幸福・希望を目指す理念が作られている。		今後も、地域性や地域のニーズをさらに探りながら、地域の中の公的介護サービス事業所として、目指していくことについて話し合っていられることが期待される。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<p>(自己評価)</p> 職員面接時、採用時やミーティング時など折に触れ説明され共有しており、日々の業務・ケアに取り組んでいる。		4つの単語だけではなく、一つ一つ掘り下げた意味合いについて話し合い繰り返し確認していく。
			(外部評価)		
			法人代表者、管理者は、職員の集まる機会やケアに取り組む際、理念に基づきお話されている。又、理念が記されたカードを職員は携帯し、意識を高めておられる。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	<p>(自己評価)</p> 開設時には、説明会等行いご理解頂けるような取り組みを行った。各ユニットの入口に、理念・基本方針・ホーム便りなどをファイルした物を設置しており、自由に見て頂けるようにしている。地域の方々との交流機会があまりない。		運営推進会議による地域との交流を図り、さらに理解して頂けるよう取り組みたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 散歩時・外回りの掃除時など気軽に挨拶をして頂いている。挨拶は、明るく気持ちよくするよう心掛けている。日中玄関扉は開放しており、立ち寄りやすい環境にしているが、付き合いは少ない。最近では、下校時の小学生がトイレや擦り傷の応急処置に立ち寄りたりと、付き合いが広がりつつあると思う。		気軽に立ち寄って頂けるような雰囲気作りを心掛けたい
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 施設長が地元住民の為、自治会との交流があり、盆踊り・秋祭り等行事に積極的に参加しているが、利用者に地元の方が居られない為、地元老人会などの日常的な交流はない。 (外部評価) 近くの溝掃除を自主的にされている。高校生や大学生のボランティアの受け入れをされている。地域行事には積極的に参加をされている。		自治会や地元老人会を通じて、行事・付き合い等の交流を積極的に取り組みたい。 さらに今後、盆踊りや秋祭り等、地域の方達とかかわる機会を活かし、関係性を深めていけるような取り組みが期待される。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) ボランティアや実習生などの受け入れは取り組んでいるが、地域に対して具体的な取り組みはしていない。		地域の高齢者にも目を向け関わりを増やしていきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 評価の目的を話し合い理解した上で、ミーティングで一つ一つ振り返り改善するよう取り組んでいる。細かい部分までは出来ていないが順次取り組み予定である。 (外部評価) 職員個々で自己評価に取り組むユニット長がまとめられた。職員は、自己評価作成時、利用者主体のケアの大切さを感じておられた。		改善項目についてスタッフ一人一人が理解し、問題意識を持って取り組みたい。また継続してやり続けることが大切なので、毎年の自己評価を活用していきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			運営推進会議の開催が少ないため活用できていないが、今後はいろんな方の意見を伺いサービス向上に活かしたい。		活発な意見交換が出来、御家族・地域との関わりを深められる運営推進会議にしたい。
			(外部評価)		
			5月に1回目の会議を開催された。事業所の行事報告やご家族、民生委員の方からもケア等についての質問があり、法人代表者が答えられた。		事業所では、さらに地域に密着した事業所を目指していきたいと考えておられる。運営推進会議を活かし、事業所のさらなるサービスの向上につなげていかれることが期待される。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			施設長が密に連絡を取り、指導を受けた項目などについては随時細かい報告がある。 生保の方は、担当者が定期的に来所されホームでの様子を見に来られる。		職員全員が市町村との関わりについて理解出来るよう話し合いたい。
			(外部評価)		
			地域包括支援センターの会合等にも参加されている。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			ミーティングで勉強会を行い話し合っている。契約時や必要な時には施設長から家族・本人に説明されている。入居者に活用できるような方がいないため、職員は詳しい説明が出来るレベルではない。		定期的な勉強会を行いさらに理解を深める必要がある。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			ミーティングで勉強会を行い、話し合い理解を深めている。 他施設での事故等あった場合、朝礼などで報告され注意を促されている。		多くの事例の場合、自分自身に虐待の意識が無いことが多いため定期的な勉強会の継続が必要である。スタッフ間で言動・行動に問題がないか注意を払う。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 現場スタッフが1名同席し、施設長が十分に時間をとり丁寧に説明し同意を得ている。不安・疑問があれば何度でも説明している。		入庫後でも契約に関する相談・疑問等があれば速やかに対応していく。
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 常に耳を傾けており、訴えがあった場合直ぐに全スタッフに報告され情報を共有し改善策を話し合っている。		今後も常に常に耳を傾け、訴えがあった場合直ぐに全スタッフに報告、情報を共有し改善策を話し合っていく。
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 毎月請求書送付時に、近況報告を同封し利用者の御様子を報告している。3ヶ月毎にホーム便りを発行し送付している。面会時など適宜報告している。健康状態に変化があった場合、主治医の意見も含め、速やかに電話連絡し報告・連絡・相談している。職員の移動に関しては、ユニット入口に職員に顔写真とプロフィールを掲示して案内している。		利用者様の暮らしぶりの情報を今以上に詳しくお伝えできるよう取り組みたい。
			(外部評価) 利用者からの預かり金については、毎月、通帳や領収書、レシートのコピーと出納帳をご家族に送付し、報告をされている。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員と話し合える関係づくりに努めている。訴えがあった場合全スタッフに報告され、速やかに改善に取り組んでいる。契約書には苦情に関する外部機関の連絡先を明記しており説明している。運営推進会議にも家族代表で数名参加頂いており、それらを運営に反映させたい。		まだまだ意見・苦情が言いにくい環境にあると思うので、アンケート等直接言葉で伝えない方法での情報収集にも努めたい。 運営推進会議での意見も参考に取り入れたい。
			(外部評価) 現在、ご家族の来訪時等に直接ご家族から意見をいただけており、改善に努めておられる。運営推進会議時、言いにくいようだったら、目安箱の利用や外部に報告していただけるよう話しておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 毎月1回定期ミーティング時に意見交換を行っている。 施設長に対し気付いた事は伝えるようにしている。 全スタッフの意見・要望を全て聞き入れてもらえては ないが、前向きな取り組みをしている。		それぞれの職員の意見に耳を傾け前向きな取り組みをお願いしたい。
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) お出掛け時や利用者の状況に応じ、見守りが手薄にならないよう柔軟な職員の配置がなされている。		職員の病気や忌引きに関しても柔軟な取り組みが出来るよう、余裕を持った人員の配置に心掛けたい。
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 基本的に職員は固定化している。 異動や離職の場合、事前に十分な引継ぎを行い利用者へのダメージを最小限にするよう努めている。		離職等による職員の移動が無いように心掛けて行きたい。
			(外部評価) 法人代表者や管理者は、職員とゆっくり話すような時間を作っておられ、離職を抑えられるよう取り組まれている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 外部研修に参加できるよう勤務調整し参加している。 それらの研修報告をミーティング時に行い、全スタッフが共有するようにしている。また、積極的に受講できるように研修情報を回覧されている。 全国認知症GH協会や介護関係書類もとに、毎月ミーティングで勉強会を行っている。		全職員がレベルに応じた研修に参加できるような取り組みを実施していきたい。
			(外部評価) 新人職員は、他企業の接遇研修を受講されている。外部研修を受講する機会も多く提供されており、職員それぞれが受講され、事業所内で周知されている。		さらに、今後、職員からも研修の希望等を挙げていくような取り組みが期待される。事業所同士の相互訪問等も職員の希望に沿って、すすめてみられてはどうか。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 同時期に開所した事業所と交流を持ち、意見交換している。 勉強会には積極的な参加を呼びかけられている。 また、研修後の懇親会に積極的に参加し交流を深めている。		ホームページを開設し、他施設と交流できるようになるといい。 他ホームを見学してみたい。 多くの同業者の方々と交流する機会を持ちたい。
			(外部評価) 事業所の見学に行かれたり、又、受け入れ等もされている。又、法人代表者は、多方面の方達とのネットワークから事業所の研修時の講師等も依頼されている。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 運営者と話す機会は頻繁にあり、常時相談しやすい環境にある。 花見・忘年会・食事会などスタッフ間の親睦を深める場が設けられている。		気軽に話せる親睦の場が以前より増えたので、今後もこのような機会を増やして行きたい。
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 運営者は、現場に入り利用者と一緒に食事をしたり会話する機会を設けている。 職員は日々目標を持ち仕事に取り組んでいる。 運営者の思いがそのままスタッフに受け入れられているとは感じない時もある。		見たまま(結果)だけではなく、それまでの過程・考えについて話をする機会を持って欲しい。
<p>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p> <p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 事前アセスメントは時間をかけ生活状態を把握するよう努めている。 相談があった場合、必ず御本人と会い意向を聴き、入居後安心した生活を送って頂けるようスタッフ間で情報を共有している。		入居前により多くの情報を得ることで、入居後に不安なく生活して頂く取り組みに努めたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 事前アセスメントは施設長が十分な時間をかけゆっくり聞くようにしている。納得されるまで説明を行い、不安等解決できるよう努めている。		介護職員も把握できるようもっと同席できれば良い。
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 入居者様の現状を見極めた上で支援を始めるようにしている。 施設長は柔軟な対応を行い、必要に応じ他の事業所と連絡をとっている。		他のサービス利用を幅広くするために、多様な事業所と交流を持って情報交換に努めたい。
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 御本人・御家族と良く話し合いゆっくり生活に慣れて頂くようにしている。 入居時には、貌馴染みの御家族と一緒に来て頂くようお願いし、安心感を持って頂くようにしている。また、生活に慣れるまで頻りに面会に来ていただくようお願いしている。 (外部評価) 事業所を利用される方のご自宅を訪問される等、入居前から関係性を作れるよう取り組まれている。		慣れるのに時間が必要なため、あせらず本人のペースに合わせてサービスを開始する。 入居が決まったら体験的にホームで利用者様と一緒に過ごしていただけるような取り組みが出来れば良いと思う。 利用者の皆さんとの関わりがうまく持てるような支援を考えていく。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 人生の先輩として、料理や生活の知恵など教えて頂いている。洗濯物たたみ、調理方法など得意分野で力を発揮していただき、支えあえる関係が築けるよう努力している。 生活の中での不安・苦しみなどを理解することに努め、分かち合える関係作りを心掛けている。 (外部評価) 利用者の状態のこともあり、ケアを提供するような場面が多い。		本人の出来ること・出来ないことを見極め、積極的にかかわって頂けるような支援の取り組みに努めたい。 さらに、利用者と職員が共に過ごす中で、ご本人から学んだり支えあう関係を築いていかれる取り組みが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 日々の暮らしの中で、良い事も悪い事もすべて報告・連絡・相談し、共に支えあえる関係作りに努めている。 利用者が不穏な時は、来所頂き一緒に支援頂いたりしている。		3ヶ月に一度のケアプラン説明時にしか来所されない御家族への取り組みを考えていきたい。
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) スタッフは御本人・御家族の架け橋となるような働きかけを心掛けている。お互いのこれまでの関係を崩すことなく、よりよい関係になるよう努めている。携帯電話を所持され自由に連絡をとられる方もおられる。		ケアプラン時だけでなく、利用者様誕生日や食事会等、一緒に楽しく過ごして頂ける時間を増やして行きたい。
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 入居前の知人等も訪問されており、継続的な交流が出来るよう努めている。		馴染みの方や来訪者のない方の対応を考えて行きたい。
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者同士の関わりの場には、スタッフが傍で見守りサポートしている。精神疾患のある方や、一人が好きの方もおり、全ての方が関わりを持つのは難しいが、お出掛けなどの行事を通し利用者同士の関係が円滑になるよう働きかけている。利用者みんなが一緒に楽しめるレクリエーションを行うよう努めている。		共通の趣味など発見できると良い。
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) いちスタッフとして関わり続ける事は難しいが、施設長が連絡をとり相談にのったり訪問しており適宜スタッフに報告がある。		退所された後も、継続的な関係を築いて行きたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
33	14 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)			精神疾患の方もおられ、利用者様本位をどこまで尊重するのか、スタッフ間の共通認識が必要である。
		日々の関わりの中で言動・行動・表情などから一人ひとりの思いの把握に努めている。また、それらを記録に残し情報を共有し話し合い検討している。思い・希望の表出が困難な方に関しては家族様から情報を得るようにしている。			
		(外部評価)			さらに今後、日々、利用者やご家族から得た情報を蓄積していけるような、アセスメントカードの書式を作成することを検討されている。
入居時、ご家族等から情報収集をされている。					
34		(自己評価)			利用者の事をもっと知りたいと思う気持ちが大切。入居後得た情報について日誌に記録しているが、日々の関わりでの記録と共に記載しているため、情報だけをまとめて記載するシートを作成し取り組んでいる。
これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前にアセスメントを行い、御本人・御家族から情報を頂き把握に努めている。入居後も係わりの中から情報を得ている。				
35		(自己評価)			出来ること・わかることを見落とさないよう、気配り・目配り・心配りが必要である。
暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	その日の体調や精神状態に応じた対応に努めている。利用者と共に出来ることを見つけ全体像の把握に努めている。				
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15 チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)			コミュニケーションを取りづらいつい方の対応方法に努めたい。
		御家族が来られた時に希望・要望・意見等を伺っている。御本人には日頃から希望・要望・意見等を聞き全体ミーティングで検討しケアプランに活かしている。			
		(外部評価)			
ご家族、ご本人の希望要望をお聴きして、職員で話し合い介護計画を作成されている。					

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			期間中に御本人の心身・生活状況に変化が生じた場合、御家族・主治医に報告・連絡・相談している。その結果をスタッフで話し合い、プランを変更したり追加したりしている。		退院された時等の計画をよりスムーズに運ぶよう、医療機関・福祉機関との連携を深めたい。
			(外部評価)		
			3ヶ月に1回の見直しをされている。又、退院、ご家族から要望のある時等に見直しをされている。医師の助言等も踏まえた見直しとなっている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			個別に記録し、具体的な記録充実に努めている。申し送りやミーティングで情報を共有しケアプランの見直しに活かしている。		各個人で記録の仕方にバラツキがみられ、統一が必要である。また、日課的な記録になってしまいがちな為、プランがもっと活かされる記録にしていきたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			医療連携を活かし、かかりつけ医の受診・往診を受け、異常の早期発見など適切な医療処置を受けながら生活の継続がなされている。		多くの事業所と連携を図り柔軟な支援ができるように努めたい。
			(外部評価)		
			マッサージ等も採り入れられている。系列事業所との交流もある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		(自己評価) 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	現在ユニットとして地域資源と協力しながらの支援は出来ていないが、施設長が主として連携をとっている。		運営推進会議などを通し地域の他機関への呼びかけを行い、協力体制が取れるよう取り組んでいく。地域の民生委員やボランティア団体を把握し協働していきたい。
41		(自己評価) 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	御本人・御家族の希望で自立支援事業のマッサージを受けている方もおられる。入居前に関わっていたケアマネの訪問を受け、報告・相談している。		地域でこういったサービスが受けられるのか職員が把握し、御本人・御家族の希望に応じられるよう、また勧めることが出来るようにしていく。
42		(自己評価) 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターとの係わりは運営推進会議のみなので協働は出来ていない。		運営推進会議を継続的に開催することで、支援に関する情報交換など協力関係を築いていきたい。
43	18	(自己評価) かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している (外部評価) 調査訪問時、かかりつけ医にて健康診断が順次行われていた。	入居契約時に、かかりつけ医について説明し同意を頂くようにしている。御本人・御家族が入居以前に受診されていた病院での継続診療を希望される場合はそちらを優先しているが、必要に応じていつでもかかりつけ医に受診・往診して頂けるようにしている。		かかりつけ医の指示を的確に把握するために、全職員が医療に関する知識を身につける必要がある。
44		(自己評価) 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	心療内科の提携医と適宜連絡をとり情報交換を行いアドバイス頂いている。必要に応じ、御家族の同意の上受診されている。不定期だが往診もある。		症状の変化を早期に発見するため、認知症の知識・理解を深める必要がある。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) スタッフに看護職があり、気軽に相談できる環境にあり日々の健康状態を把握し支援している。月1回のミーティングで、日常の健康管理や緊急時の対応など勉強会をしている。 かかりつけ医の訪問看護を週1回受けている方もおられる。		スタッフ看護職と訪問看護職との連携を深め、利用者様の情報を共有することで、適切な対応が出来るように努める。
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 施設長が連携をとり、病院を訪問したり頻繁に情報交換を行いスタッフに報告されており、早期退院支援に結び付けている。入院中にはスタッフが見舞うようにしている。		入院された時に病院側の対応がスムーズに出来るように、ホームでの日常生活等の詳しい情報を提供したい。
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 看取り指針に関しては、契約時に施設長から御家族へ説明している。その情報に関してはスタッフに報告し情報を共有している。 (外部評価) 入居時に看取りや重度化のことについて、お話をされている。又、医療が必要になった時等にもご家族と話し合われている。看取りの経験をされている事業所の代表を研修の講師に招き、ケアについて勉強をされている。		重度化・終末期に向けた方針が定まっていない方もおられ、情報を全スタッフが共有しているとは言えない。その時(急変事など)慌てないですむように入居者様全員の方針について話し合い把握する必要がある。 御家族と定期的に話し合いをしていく。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) GH内で出来ること・出来ないことを見極める事は、かかりつけ医と連携をとり行っている。 医療行為が継続して必要になった場合は、かかりつけ医の判断で、御家族に相談納得の上、適切な施設や医療機関を紹介頂いている。		重度化・終末期の対応が必要な場合のために全スタッフの勉強会継続が必要である。
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) これまでの生活が継続出来るように生活環境・支援内容・注意点などのサマリーを作成し情報提供に努めている。施設長がケア関係者と随時連絡をとり情報交換・訪問など行い、ダメージを最小限にするよう努めている。		退去後も馴染みのスタッフが転居先に訪問し関係を継続したい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価) 居室入口にのれんをかけるなどプライバシー確保に努めている。個人情報保護法の勉強会を行い漏洩防止に努めている。ミーティングや勉強会で話し合い十分注意しているが、何気ない一言や対応でプライドを傷つけている事もありえる。</p>		<p>勉強会を継続しプライバシーに関しての意識向上を図ることが必要。 声かけ・対応などスタッフ同志が注意し合える環境を作り、意識を高める。</p>
			<p>(外部評価)</p>		
51			<p>(自己評価) 個人記録等の扱いや記録の内容等、利用者個々のプライバシーに配慮されていた。</p>		<p>事業所では、職員の利用者に対する言葉かけや対応について、さらに細やかに配慮していきたいと考えておられた。</p>
52			<p>(自己評価) 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>		<p>意思表示が困難な方には、わずかなサインも見逃さないよう気をつけている。選択・自己決定出来る場面を多くするよう努めている。また、自己決定が困難な方には、選択肢を減らして自己決定して頂くよう支援している。場合によって自己決定に添えない時は共同生活である事を説明し納得頂いている。</p>
52			<p>(外部評価) 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>		<p>入居者様全員の思いに添えていないので、より多くのご希望にお答え出来るように努めたい。</p>
52			<p>(自己評価) 基本的な1日の流れは決まっておりスタッフのペースになりがちであるが、利用者の体調や気持ちを尊重し柔軟な対応に努めている。</p>		<p>利用者のペースを大切に、気持ち・体調に配慮しながら支援していく。</p>
			<p>(外部評価) 一日のスケジュールが職員のペースになりがちとなっている。</p>		<p>さらに、利用者個々が事業所でどのように暮らしたいかということを探り、利用者主体の生活を支援できるよう、取り組まれることが期待される。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		<p>(自己評価)</p> <p>身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>更衣時やお出掛け時には御自分の意向を伺い選んで頂いている。理美容に関しては、出張美容師の訪問があり好みのスタイルにカットされたり毛染めをされている。馴染みの店のある方は、御家族の協力を得て行かれている。</p>		<p>身だしなみに関して問題がある場合、スタッフがすぐに対応できる気付きが必要である。また、季節に応じたおしゃれが出来るよう支援していく。</p>
54	22	<p>(自己評価)</p> <p>食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p> <p>(外部評価)</p> <p>配食サービスを利用されているが、週に3回は事業所で利用者の希望等も聴きながら調理をされている。配膳や下膳をされている方やテーブルを拭いておられる方もおられた。</p>	<p>(自己評価)</p> <p>メニューは利用者様に相談し、一緒に考えるよう心掛けています。現在一緒に準備をするのは難しいが、スタッフと同じテーブルで食事を取ったり、味付けや調理方法のアドバイスを頂いたりしている。片付けは機会を見つけ声をかけているが参加は難しい。</p>		<p>意欲的に楽しく参加して頂けるよう、前向きな意思や気持ちを引き出すような場面作りに取り組んでいく。</p>
55		<p>(自己評価)</p> <p>本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>タバコ・酒を希望される方はいない為提供していないが喫煙場所等は確保している。水分補給時の飲み物は、希望を伺い好きな物を自由に飲んで頂ける日もある。</p>		<p>一緒に買い物に行き、御自分の好きなジュースを自由に購入して頂き、おやつ時に飲んで頂くような取り組みをしたい。 選択する機会を増やしていきたい。</p>
56		<p>(自己評価)</p> <p>気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>排泄チェック表を使用し、排尿排便の回数などを把握すると共に、時間を見計らって誘導しトイレで排泄されている。</p>		<p>声かけの際、自尊心を傷つけないようさりげない支援をしていく。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			現在の状況では、一人ひとりの希望やタイミングに合わせるのは難しく職員の都合で決める事が多いが、その中で御本人の希望を取り入れるよう努めている。 血行障害のある方は足浴を行っている。		現状として、職員の配置・人数の関係で安全で自由な入浴対応は無理である。今後利用者様の生活能力に応じシャワー浴だけでも取り組みたい。
			(外部評価)		
			現在は、曜日や時間帯を決めて、その中で利用者の体調等を踏まえて声かけをされている。		さらに今後、夏場に向けて夜間寝る前に、シャワーの利用や日曜日にも入浴できること等を検討されている。
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			日中は体操・散歩など活動を促し、生活リズムを整えるよう支援している。また、年齢や体調を考慮し昼食後ゆっくり休息を取って頂く方もおられる。 夜間睡眠に関しては、必要に応じ御本人・御家族に相談し医師による薬の処方を受けている。		なるべく薬に頼らない睡眠が取れるよう支援していきたい。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			身体を動かすことが嫌いな方が多く、お手伝いをお願いしても拒否される方が多い。一人ひとり力を発揮してもらえるよう出来る事を見極め、役割を見つけられるよう支援している。		張り合いや喜びのあることを見つけ楽しく過ごして頂きたい。
			(外部評価)		
			入居前からされていたグランドゴルフを入居後も続けておられる方がいる。大型テレビで時代劇を観ることを楽しみにされている方もおられる。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			入居時に御本人・御家族の意向を確認しているが、ホームでの管理を希望される方が殆どである。5月から一人の利用者が小額を所持されて、買い物時御本人が支払えるよう支援している。		ただ所持するだけでなく、使い道など希望が持てる使い方を考えたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			天気の良い日は、散歩や日光浴に出掛けて頂くよう声掛けを行い、一人でも多く屋外に出て季節を肌で感じてもらうよう支援している。一人での外出は難しいが御家族の協力を得て食事や墓参りなどに出掛ける方もおられる。		外出の嫌いな方も折られるが、気軽に外出していただける取り組みに努めたい。
			(外部評価)		
			車を使っての外出や日々の散歩、買い物等に出かけておられる。共用空間には外出時の写真が飾られ、その時の思い出を話しておられる方もうかがえた。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			月に2～3回の外出を予定しており、あらかじめ職員の勤務調整がなされている。行き先・食事等は利用者の希望を出来る限り取り入れ、楽しく出掛けられるよう支援している。		御家族と共に出掛けられる機会が少ないため、協力が得られるよう支援していく。利用者のゆかりの場所へも個人的に外出の取り組みが出来ればよい。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			携帯電話を所持している方もおられ、いつでも電話できるように支援している。手紙をいつでも出せるよう支援している。月次の家族様宛ての近況報告に利用者様本人もコメントを書き添えられており好評である。		連絡が一方通行にならないように支援したい。
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			気軽に来やすい雰囲気作りを心掛けており、訪問者の都合の良い時間にいつでも来て頂けるように配慮している。		気軽に来て頂けていると思う。 居室以外にゆっくり過ごして頂く場所が欲しい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) ミーティング等で勉強会を実施しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		定期的な勉強会を継続し、自覚しない身体拘束が行われていないか振り返りが必要である。特に言葉遣いに配慮が必要です。
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しているため、日中玄関ドアを開けっ放しの状態にしている。徘徊に関してはさりげない見守りで対応し、安全を確保している。		早朝や夕方などスタッフの人数が少ない時に見守りが手薄にならないよう連携を取っている。
			(外部評価) 玄関には鍵をかけず、自由に出入りできるようになっている。玄関先には、ベンチが設置されている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 基本的に居室の扉は閉めプライバシー保護に配慮している。居室内におられる時もさりげなく様子伺いで、所在や様子の把握に努めている。日中リビングにはスタッフ1名が必ずいるよう連携している。夜間は2時間毎に巡視を行い安全に配慮している。		徘徊のひどい方がおられ、全体的な安全性に不安を感じる時がある。
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) はさみ・カッター・針などの刃物類や火災物は安全のため御家族様の了解を頂いた上で、スタッフが預かり必要な場合は状況に応じてスタッフが見守り危険を防ぐよう取り組んでいる。		御本人が管理できる状態であれば自由に使って頂けるように支援していきたい。
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) マニュアルを作成している。利用者の特性を把握し、ミーティングや勉強会で話し合い事故防止に取り組んでいる。また、看護職に対応方法を聞いている。ヒヤリハット記録を踏まえて、その時の状況や改善策などを検討し共有認識を図っている。御家族には速やかに報告している。		定期的にリスクについての勉強会を行い、質の向上に努める必要がある

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 緊急時のマニュアルを作成しており、ミーティング時には看護職を中心に勉強会を行っているが、具体的な訓練はしておらず事故発生時全職員が対応できるか不安はある。		多岐にわたり知識が必要なため、勉強会を継続させ質の向上に努めていく。 今後、日赤・消防署の協力を得た訓練を予定しており、全職員が適切な対応が出来るよう取り組んでいく。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 災害時マニュアルを作成し、避難経路を把握し災害に対してイメージトレーニング的な勉強会を行っているが、訓練は実行されていない。地域の人々への協力の働きかけは施設長が行っている。		ホームでの定期的な避難訓練の取り組みと、消防署の協力を得た避難訓練・消火器の使い方などの実施訓練の取り組み。
			(外部評価) マニュアルを作成して職員で話し合いを行っている。		8月に、系列事業所と合同で地震時の訓練を行う予定となっている。地震体験車が来るようになっている。さらに、その後に火災時の訓練も実施する予定となっていた。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 入居契約時に日常生活での起こりえるリスクについて説明している。入居後も予想されるリスクを御家族と話し合い、自由な暮らしの大切さについて御理解頂くよう努めている。		リスクに関する御家族との話し合いを定期的を実施し、対応策を話し合いたい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) バイタル測定を行い、体調の変化や異変の早期発見に努め、些細な事も見逃さず記録をつけ情報を共有し早期に対応している。必要に応じ指示医に指示を受けたり往診を受けている。		体調変化の兆候を見落とさないよう高齢者の特性を学ぶ。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 処方箋を確認し、目的・副作用・用量など把握に努めている。内服の追加・変更等あった場合は、かかりつけ医や看護スタッフに相談し観察ポイントを確認の上記録に残すことで情報を共有している。		全員の薬の内容や副作用を把握できるよう各自服薬の重要性について学んでいく。
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 繊維質を多く含む食品や乳製品摂取・水分摂取(個人によっては冷水)を心掛けており、毎日の体操・散歩をしていただき自然排便があるよう取り組んでいる。取り組みに対して自然排便が困難な場合、かかりつけ医に指示を仰ぎ下剤の調節を行っている。		職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、定期的に排便があるように対応していく。
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 口腔ケアの重要性についてミーティングで学んでいる。起床時・眠前時の口腔ケアを基本としている。力に応じ見守ったり、介助を行っている。総義歯の方も柔らかめの歯ブラシで歯茎のブラッシングを行いケアに努めている。週に1回洗浄剤を使用し除菌している。		義歯に食べかすが残っている方もおられ、毎食後ケアできるよう取り組みたい。
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるように、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) カロリー計算された宅配材料を週4日利用しており、残り3日はそれに基づいた献立にしている。一人ひとりの摂取状況に応じ刻み等、食べやすいよう配慮している。水分確保に関しては十分な量は取って頂いている。夜間トイレ覚醒時にも水分摂取を心掛けている。		季節感を取り入れたメニューや、バランスを考えた献立作りに取り組みたい。
			(外部評価) 食事がすすまない方については、主治医に報告し指示を仰ぐようになっている。又、おやつ等間食からも栄養摂取できるよう取り組まれている。一日1500ccの水分摂取に努めておられ、タイミングをみてすすめておられた。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) マニュアルを作成し、勉強会を行い予防・対策に努めている。日々の生活の中で、うがい・手洗いは習慣となっている。入居者・スタッフ全員がインフルエンザの予防接種を受けている。必要に応じペーパータオルを使用している。他ユニットで感染症が発生した場合、ユニット間の交流を控えるようにしている。		定期的にマニュアルの振り返りを行い、最新の情報を共有できるようにしていく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価) まな板・ふきんは毎日酸素系漂白を行っている。また、包丁など刃物類は使用前に消毒を行っている。食材は、外部業者に依頼し、安全で安心な食材が宅配されており必要以上の在庫は持たないようにしている。先入れ先出しを指導している。</p>		<p>乾物など使用頻度の少ない食材の消費期限管理をしっかりしたい。賞味期限の短い食材に関しても管理を徹底したい。</p>
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 年間を通し、玄関先にはプランターに四季折々の花が咲いており季節感を味わえるようにしている。スロープに手すりの設置や玄関内に長椅子の設置など工夫されている。日中玄関扉は開放しており、入りやすい環境にしている。</p>		<p>玄関周りに飾る草花を、利用者様と共に手入れできるよう取り組みたい。</p>
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 食卓には季節感を味わって頂くよう、庭に咲いた花など季節の花々を飾っている。午後の日差しにはカーテンによる採光の調節を小まめに行うよう努めている。正月飾り・雛人形など年中行事の飾り付けや節分・七夕・ゆず湯・そうめん流し等五感を刺激し季節感を採り入れる工夫をしている。前の山では野鳥のさえずりや季節毎の景観が楽しめる。</p> <p>(外部評価) 外出先で購入されたタオルを飾っておられた。車椅子の方が使用しやすいように洗面所の改装を計画されていた。又、利用者の状態に応じて、浴室等の手すりも増設されていた。</p>		<p>夜間・早朝の物音(ドアの開閉・職員の足音・食事の支度等)で利用者様が不快になられることがあるので、十分に配慮したい。</p>
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価) テレビ前にソファがあり、雑誌・新聞を読まれたりテレビを見たり、自分の席でゆっくりされたり、と思いいいにリビングで過ごされている。気候の良い季節には玄関内の長椅子で夕涼みされる方もおられる。</p>		<p>移動が自由にならない方がおられるので、意思や希望を汲み取った対応に心掛けたい。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			スペースが限られているが、大切にされている物・仏壇や馴染みの家具など御家族と相談し持って来られており、居心地よい空間作りを心掛けている。		入居前に御自宅に訪問して、持ち込む物を御本人・御家族と相談して決めたい。
			(外部評価)		
			ベッドの方や畳の間、マットレスを使用されている方等、利用者の状態に合わせて対応されていた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 1年を通し時間を決め換気を行っている。それ以外にも臭気があれば適宜換気している。フロア内に温度・湿度計を設置し、小まめにチェックし調節している。冬季は加湿器で湿度の調整をしている。体感温度には個人差があるため、衣類で調整を行う場合もある。		職員主体の温度管理（入居者様と体感温度が違うため）にならないように配慮する。利用者様には換気を嫌う方がいるので説明等の配慮が必要です。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 元々廊下・風呂場・トイレに手すりを設置していたが、昨年、玄関・風呂場・トイレに手すりを増設し、安全に自立した生活が送れるよう配慮している。必要に応じベッド柵を設置している。		車椅子の方が使える洗面台は限定されていたが、8月からは全ての洗面台が介護用に変更予定です。どの洗面台でも車椅子の方が気軽に利用できるようになる。
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 居室前には表札を掲げそれぞれ違うのれんを設置し、自分の居室がわかりやすいようにしている。利用者様に変化があったり混乱や失敗が生じた場合、スタッフがさりげない対応をしている。その事に関してはスタッフ間で情報共有し対応している。		混乱や失敗の場合、職員による対応にばらつきがないようにしたい。利用者様のプライドを傷つけないさり気ない対応を心掛けたい。
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている	(自己評価) 小さい畑があり一緒にネギやしその葉を取って頂いたりしている。玄関先にベンチを設置しており、季節の花々や日光浴を楽しんで頂いたり、おやつを食べて頂いたり楽しい空間になるよう工夫している。屋上にもベンチを設置しており、布団干しに上がった際など一息つける空間になっている。		庭先や屋上ベランダに出て、気分転換する機会を増やしていきたい。

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ② 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	日々の生活や、ミーティングやサービス担当者会議等で話し合い理解している。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ② 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	日々の業務に追われているが、出来る限り利用者とかかわれるよう努めている。食事中・食後・おやつ時はゆっくりした雰囲気を楽しめる時間になるよう努めている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	介護が必要な方は、自分のペースで生活できていない。スタッフのペースに合わせて頂いているケースが多い。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	支援する中で一緒に何かが出来た場合、生き生きした表情をされている。生き生きした表情や姿で生活して頂けるよう努力している。自分のペースで生活出来なかった場合、不満を持たれる時もあると思う。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	毎日の散歩に行かれる際、コース選択はして頂いている。外出時(お出掛け時)には、利用者の意見を取り入れている。希望される方も少なく、個人で自由に外出されることはない。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	2週間に一度かかりつけ医の往診があり、体調不良時は24時間体制で相談できる。日常のバイタルサインチェックで体調変化を早期に気付けるよう取り組んでいる。スタッフに看護職があり、健康管理面での指導を受けている。設備の安全面では、手摺・洗面台・ベット・トイレ・風呂等工夫されている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	要望に応じた柔軟な支援をしている。申し送り等で情報を共有化し、可能な限り柔軟に支援するよう努めている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	頻回に面会に来て頂いている御家族には信頼して頂いていると思う。また、面会された際に近況報告など行い、話し易い雰囲気作りを心がけている。3ヶ月に一度のケアプラン説明時にしか来所されない御家族の思いを理解出来ているとは言えないが信頼関係を築いていきたい。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ③ たまに 4 ほとんどない	以前入居されていた方が野菜等持ってこられ入居者様と一緒に茶を飲まれている。地域の方が気軽に着て頂けるような取り組みをしていきたい。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元 の関係者とのつながりが広がったり深ま り、事業所の理解者や応援者が増えてい る (自己 評価) ③あまり増えていない ④全くいない	運営推進会議の開催が少ないため効果はまだ出ていない。
98	職員は、生き活きと働けている (自己 評価) ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない	職員間のコミュニケーションがとれている。 明るく楽しく働いている。 肉体的・精神的にきつい為、生き活きと働けない時もある。
99	職員から見て、利用者はサービスにおお むね満足していると思う (自己 評価) ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	落ち着いた生活を送られており、満足されていると思う。 『施設での生活とはこんなもの』と思っておられるのではないかと、思うことがあ る。 笑顔が見られない時もあり、満足されていのではないかと、思う時もある。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービ スにおおむね満足していると思う (自己 評価) ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない	おおむね満足して頂いていると思う。 家族様から『良くして頂いている』『色々連れて行ってもらってうれしい』などと声 をかけて頂く。 お願い事の連絡に快く応じて頂いている。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

『健康・愛情・幸福・希望』の理念の下、全スタッフは利用者様・家族様・職員の『安全・安心・安らぎ』のある生活を目指し取り組んでいます。
 玄関先では、四季折々の花々を楽しんで頂き、リビングでは明るい日差しが降りそそぐ中で落ち着いた生活を送って頂けるよう支援している。
 食べる事は生活の中で最大の楽しみでもあり、当ホームでは週4日は栄養士がカロリー計算した宅配の食材を使用し、栄養バランスが偏らないように、また献
 立が単調にならないように注意している。
 ホームの中だけの生活ではなく、積極的に出掛けや外食をしたり、庭や屋上テラスでおやつを食べたり、旬の物を召し上がって頂いたり、雛祭り・七夕等
 の季節行事を楽しんで頂く事で、季節の移り変わりを、目・口・鼻・耳・肌の5感を刺激して楽しんで頂けるように努めています。